



日本共産党 県会議員

松坂
ひでき

県政だより

2013年11月号 6月・9月議会合併号
発行 松坂ひでき事務所 有田郡有田川町庄876



有田市立病院
分娩が中止に

急がれる
産科医師の確保

有田地方で

子どもが産めない??

松坂県議は6月県議会で、有田地方の産科が危機的状況にあることを取り上げました。

現在、有田地方の産科は、有田市立病院と有田川町の民間医院の2ヶ所しかありません。ところが、その有田市立病院が医師の退職により9月から新規出産（分娩）を中止すると発表しました。わずか一カ所の民間病院だけでは年間約500人の有田地方出産数をカバーできず、安心して地元有田で子どもを産めないという大問題となっています。

松坂県議は、この危機的状況を打開するために、医大に医師派遣の要請を

するなど、県として有田医療圏の産科医師確保に全力を上げよとせまりました。

県は、医師募集や県立医大・近隣医療圏との連携をはかり診療体制の確保に取り組むと答弁しました。



骨髄移植に支援を!

松坂県議は骨髄バンクにドナー登録をしていて、このほど提供依頼を受けて骨髄提供手

術をしました。今回の経験をもとに、提供相手10代の男の子だったことにもふれながら、「命のボランティア」と呼ばれているこの取組を取り上げました。

県内での骨髄バンク登録、移植手術の状況、医療施設整備などを質問し、県のさらなる積極的な支援を求めました。



機能性成分に注目

加工用柑の価格向上を

みかん対策



松坂県議は、暑さと雨

不足に泣かされた農家の夏の苦労をふりかえり、今年のみかん生育状況と課題・対応を質問するとともに、「抗酸化作用」や「健康推進・病気予防」などの機能性成分に注目した販売促進と品種開発をいっそうすすめるよう求めました。

また、ジュース用みかんの単価が安すぎ、果物

ジュースの需要が増えてくるのに原材料柑不足で生産が減っているという現状を示し、ジュースなど加工食品の強化方向を質問しました。「魅力的な加工食品」というような付加価値を上げて加工用みかんの買い上げ価格を引き上げてゆく、また一方で「生産されたみかんの中で、加工用にまわす比率を上げることで市場出荷するみかんの品質を高め、単価アップをはかり農家収入を上げてゆく」、こうした生産・加工を見通した政策強化が必要だと提案しました。

(9月県議会 本会議質問)

松坂県議の
議会質問

6月県議会

【本会議】

- ① 骨髄移植等への支援
- ② 有田地方の産科・小児科の医療体制
- ③ 自然エネルギー活用
- ④ 米軍オスプレイ低空飛行訓練

【文教委員会】

- ① 学校給食での除去食
- ② 定数内講師の解消
- ③ 給与カットについて

9月県議会

【本会議】

- ① 和歌山県がなくなる「道州制」について
- ② 教育問題（高校授業料問題、少人数学級の充実）
- ③ みかん対策
- ④ 有害鳥獣対策

【文教委員会】

- ① 高校生の就職問題
- ② 就学援助について
- ③ 学力テスト
- ④ 高校再編計画





県会議員
松坂ひできの

東奔西走!

●有田巨峰村のオープニング
(有田川町川口 8月)



●山焼きのおかげで、今年は
生石山のススキがこてもキ
レイです
(有田川町生石 9月)



●台風18号で国道480号
が崩壊
(有田川町久野原 9月)



●2年前の台風災害から未だ
復旧できていない現場を調
査(有田川町沼谷 10月)



●ありだ広域観光キャンペー
ン(吉備湯浅パーキングエ
リア 6月)



●街なかの民家で人形展が開
かれました
(湯浅町北町 6月)



●草刈りをした住民から「広
橋近くの護岸に亀裂」との
相談を受け、早速改修へ
(広川町広 5月)



●西広農道が完成しま
した
(広川町西広 6月)



●雑誌に掲載され観光客
であふれたコスモス
パーク
(有田川町長谷 9月)

和歌山県が 5年後に なくなるって?

松坂県議は9月県議会
で質問し、「和歌山県を
なくす道州制導入という
結論だけあって、中身は
政府の会議に丸投げで進
めていったのか。有
田郡内3町議会でも反対
意見書が採択されている
が、知事は国の立場に立
つか、地方の立場に立
つか」と、きびしく知
事に迫りました。



沖縄でも 和歌山でも



米軍新型輸送ヘリ「オ
スプレイ」の配備をめく
り、「維新の会」橋本市
長らが大阪府八尾空港に

オスプレイを誘致する
の発言がされたり、日米
合同軍事訓練への参加
災害訓練としてオスプ
レイの飛行が計画され
たりと、沖縄だけでなく
和歌山にも全国にも大
きな問題となっています。

知事は「八尾空港へ誘致
しても沖縄の負担軽減に
はつながらない。共同推
進には同意するつもりは
ない」と答弁しました。

7月には日本共産党県
議団として、沖縄県でオ
スプレイを視察。世界一
危険な普天間基地は撤去
しかないこと、そして辺
野古への新基地建設やオ
スプレイの全国的な配備
拡大は、沖縄の負担軽減
どころか、被害拡大と軍
事訓練強化でしかない
と実感しました。



●有田川の堤防補強が下流
の有田市区域でも進ん
でいます
(有田川町植野 5月)

●大型量販店の進出でバス
停位置が危険と相談をう
け、安全な場所に移動
(有田川町植野 5月)

●有田川の堤防補強が下流
の有田市区域でも進ん
でいます
(有田川町植野 5月)

●有田川の堤防補強が下流
の有田市区域でも進ん
でいます
(有田川町植野 5月)

●有田川の堤防補強が下流
の有田市区域でも進ん
でいます
(有田川町植野 5月)

●有田川の堤防補強が下流
の有田市区域でも進ん
でいます
(有田川町植野 5月)

●有田川の堤防補強が下流
の有田市区域でも進ん
でいます
(有田川町植野 5月)

どっとなる 道州制

政府与党が今年の国会
提出をめざす「道州制基
本法案」では、3年以内
に諮問を受けて5年程度
で道州制の導入をめざす
という方向が示されてい
ます。

仁坂知事は、「道州制
は長い目で見て不可避だ
と思うが、道州制は地方
分権を推進するものでな
くはならない。しかし

制度設計がはつきりしな
いので、今のところイエ
スカノーかは難しい」と、
あいまいな答弁しませ
ん



教育問題

高校卒業生の 就職問題

高校卒業生の就職が
年を追うごとに非常に
深刻な事態
です。これ
までの指定
校推薦がな
くなる例が
増えるなど、
全国平均と

比へても厳しい状況の
もと、県として就職支
援を強めるよう求めま
した。(9月県議会・
文教委員会)



学校給食の アレルギー対策

また、食品への急性
アレルギー反応が社会
問題となる中、学校給
食での「除去食」の導
入状況を質問。給食の
時間での対応も含め、
担任まかせにせず学校
全体で取り組むべき課題
であること、発作時の

注射など医療との境目
にもかかわることから、
保護者・医療機関など
との連携を強化するよ
う求めました。(6月
県議会・一般質問)



●毎回、議会前後には郡内3町長さんと懇談し要望を伺います
(9月議会後の懇談、左から広川町、湯浅町、有田川町)